

オープニングイベント

「龍馬がゆく！大洲」150年記念事業 ついに開幕！



4



2



3



5



6



7



1



8

- 1 坂本龍馬役に扮した清水市長
- 2 ~ 5 茂本ヒデキチさんのライブパフォーマンス
- 6 完成した墨絵
- 7 龍馬しゃも鍋
- 8 龍馬脱藩の道ミニウォーク

この日は脱藩の道ミニウォークも行われ、約100人の参加者たちは、雪の残る落ち葉の山道を、龍馬への思いに浸りながら歩きました。

この日は脱藩の道ミニウォークも行われ、約100人の参加者たちは、雪の残る落ち葉の山道を、龍馬への思いに浸りながら歩きました。

イベント会場では、龍馬しゃも鍋が参加者に振る舞われ、会場に集まった大勢の人が、温かくコクのある鍋に舌鼓を打ちました。

オープニングイベントとして、墨絵画家の茂本さんによるライブパフォーマンスが行われました。約20分で同時に3枚の絵を描き上げた茂本さんに、会場からは大きな拍手が巻き起こっていました。

開会で清水市長は、「坂本龍馬が150年前に駆け抜けた大洲の地で、どんな風景を見ていたのか、みなさんに肌で感じてもらいたい。全国から集う龍馬ファンのために、市民のみなさんもおもてなしの心でお迎えしてもらいたい」と話しました。

「龍馬がゆく！大洲」150年記念事業のオープニングイベントが3月26日(月)、河辺ふるさと公園で開催されました。

龍馬脱藩の道 完全版をゆく！



神奈川県大和市 橋本 健治 さん

実際に歴史ある脱藩の道を見て、歩くことができ大変感動しました。ガイドやスタッフのみなさんの「おもてなし」にも、とても満足しています。

「龍馬しゃも鍋」は、甘口でもおいしく、体が温まりました。

今回の企画は、ふとしたきっかけで知ったのですが、これからはイベントがあれば、情報を広く発信してもらいたいと思います。



広島県呉市 五藤 千津子 さん

以前、大洲を訪れたことがあります。脱藩の道をたどる今回の行程では、新たな風情を感じることができました。

大洲城では、あいにくの雨でしたが、これも楽しい旅の思い出の一つです。

初めていただいた「いもたき」は、いもが柔らかく、とてもまろやかでおいしかったです。

ガイドのみなさんの親切な対応には、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。



1



2



3



4

4月20日(金)〜22日(日)には、「案内人付き龍馬脱藩の道 完全版をゆく！」が実施され、73人の龍馬ファンが参加しました。大洲入りした参加者は、早速、河辺に移動し、榎ヶ峠付近御幸の橋の道のりを歩きました。夕食会では山鳥坂鎮縄神楽が披露され、参加者を巻き込む老翁の

「盆の舞」は、参加者とともに会場に集まった地元の人たちの笑いを誘っていました。2日目に三杯谷の滝壺の甲を完歩した二行は、その後、大洲城でもいもたきを味わいながら、岳人山さんの尺八の音色と、大洲城を彩るキャンドルを楽しみました。最終日は荒天となり、予定して

いた川下り脱藩体験は中止となりましたが、龍馬宿泊の地・富屋金兵衛邸跡地や江湖の港を散策し、参加者たちは龍馬に思いを馳せていました。「龍馬がゆく〜大洲」150周年記念事業は12月末まで続きます。市民のみなさんも、ぜひ参加してください。



5

- 1 1日目：御幸の橋を渡る参加者
- 2 野外イベントの山鳥坂鎮縄神楽にも参加
- 3 2日目：岳人山さんの尺八コンサート
- 4 参加者を歓迎する大洲城のキャンドル
- 5 最終日：港町（長浜）で町並み散策

榊山教育振興会が公益財団法人に移行

大洲市で青少年の教育振興に資するため、活動を展開している財団法人榊山教育振興会が、4月1日付けで公益財団法人に移行しました。

これは平成20年12月1日に施行された「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」に基づき移行したもので、愛媛県の公益財団法人として認可を受けました。

公益財団法人とは、行政庁から公益性を認定された財団法人のことで、「公益財団法人」という名称を優先的に使用することができます。



大洲市中学生海外派遣事業出発式

榊山教育振興会は、昭和56年、故榊山健三氏が私財を投じて設立された団体で、次代を担う人材の育成を願い、母校大洲高校を中心に、大洲市の公立学校の教育振興を目的としています。

設立から以後30年にわたって大洲市の公立学校および教育関係団体に対し書籍の贈呈や体育・文化活動などに助成を行っています。

公益財団法人として新たに生まれ変わった榊山教育振興会は、今後大洲市のために、公益事業活動への協賛・助成などを行い、青少年の健全育成に寄与していきます。



科学体験フェスティバル

臥龍山荘ガイドブックが出版されました

臥龍山荘ガイドブック出版の発表が4月13日(金)、臥龍山荘で行われました。

これまで数寄屋造りの名建築である臥龍山荘の千家十職の匠の技や、懸け造りなどを解説した書籍はありませんでした。

平成23年5月にミシユラン・グリーンガイド・ジャポンで臥龍山荘が「一つ星」に選定されたのを機に、調査・分析を行い、広くみなさんに紹介することを目的に大洲市が発行したものです。

このガイドブックの特徴としては、細やかなところまで職人の細工の行き届いている様子を多くの写真で解説しています。また、臥龍山荘を建てた貿易商・河内寅次郎氏の生い立ちや、日本を代表する建築家隈研吾氏の評価など、京都工芸繊維大学の矢ヶ崎善太郎准教授の監修のもと、専門的な解説書となっています。

今年坂本龍馬が脱藩し、大洲を駆け抜けてから150年の節目にあたることから、この機会にその歴史を振り返るとともに、趣豊

かな臥龍山荘の新たな一面が再発見されることを期待しています。

▽書籍名

「水郷の数寄屋 臥龍山荘」

(全144ページ)

▽販売価格

1500円(税込)

▽販売場所

臥龍山荘・大洲城・おおず赤煉瓦館・大洲まちの駅「あさもや」・商工観光課のほか、県内書店で販売しています。

また、ネット販売(アマゾン)、電子書籍(アップルストア)でも、お買い求めできます。



ガイドブックを執筆した中村英利子さん

平成24年度 第48回新就職者激励大会

第48回目となる新就職者激励大会が4月24日(火)、リジエール大洲で開催されました。

歓迎の言葉として、清水市長は「社会人は、答えがあつた学生時代の教育とは違い、自分で問題を考え、それぞれの答えを出していかなければならない。今後、多くの人と議論を交え、自分を磨いてもらいたい」と述べました。

社会人の先輩である仙味エキス株式会社社長長富雄治(ゆうじ)さんは「楽しく仕事をするためにも、まずは職場での人間関係を築いてもらいたい。若い情熱を、素晴らしい未来へ繋げてもらいたい」と激励しました。



新就職者を代表して、医療法人北斗会大洲中央病院の武知雅之(まさゆき)さんと株式会社愛媛銀行大洲支店の門田知子(ともこ)さんは「東日本大震災から1年が経ち、明るい明日のためにも、私たちがすべきことを考えないといけない。温もりある社会に貢献し、人としてのマナーを大切にしたい」と今後の抱負を述べました。

その後、新しい試みとして、新就職者や関係者との交流会が行われました。新就職者たちは、清水市長や大洲商工会議所の井関会頭と名刺交換を行うなど、社会人としての第一歩を踏み出していました。

愛たい菜2周年記念感謝祭



夏場の到来を感じさせる晴天のもと、「愛たい菜2周年記念感謝祭」が4月29日(日)に開催されました。

当日は、テレビやラジオで活躍している大洲市出身のタレント、らくさぶろうさんを一日店長に迎えたほか、特設ステージでは、大洲農業高等学校の生徒たちによる吹奏楽部の生演奏や豊年踊りがオーブニングを飾りました。

また、「わっしょいーお祭り村」の屋台がステージを囲むように出店し、高校生の屋台では、愛媛たいき農協の野菜で開発したスイー

ツを、詰めかけたお客さんにPRしていました。

その後、1日に必要な量の野菜を食べる「350グラム早食い競争」が行われ、参加者の悪戦苦闘する姿に、会場からは歓声と応援の声が響いていました。

今回の感謝祭は、ゴールデンウィークが重なったこともあり、多くの人が来場しました。たくさんのお客様の来場は、ゴールデンウィークのイベントや物産の販売が行われ、会場は終始盛り上がりを見せました。

